



双葉中学校通信

No.7(2024.10.28 発行)

[文責:澤田隆文]

あま かわ べ
天の川辺

教育目標 **心を磨き、体技を磨き、夢・志をもって挑戦し続ける自分をめざそう**
 ~努力を積み重ねる誠実さと情熱、しなやかな心で、可能性は無限大~

目指す生徒像 **自分の将来に夢を抱き、自分の力を社会に生かそうとする志をもった双中生**

双葉中学校ホームページ
 はこちらから



仲間と心をつなぐ、そして、伝統をつなぐ合唱コンクール

9月26日(木)に双葉中学校合唱コンクールを実施しました。

残暑続く中、音楽の時間や放課後に合唱練習を重ねました。取組期間中、各学級では「合唱練習を通じてどのような仲間・集団に成長していきたいか。」について考え、パートリーダーや指揮者を中心に学級の仲間と励まし合う姿が数多く見られました。

コンクール当日、3年生は、中学校生活最後の合唱曲を気持ちを込めて歌い上げていきました。いずれの学級も、曲に込められたメッセージが聴く人の心に届く素晴らしい合唱でした。

2年生は、いずれの学級も質の高い合唱を創り上げようとする努力が伝わるものでした。1年生は、中学校での初めての合唱に緊張しながらも、元気あふれる合唱で、来年度以降の合唱に期待させるものでした。1、2年生は、3年生の先輩が合唱に真剣に取り組む姿を見て、仲間と協力することの大切さを学んでくれたのだと思います。

双葉中学校にとって、合唱コンクールは先輩が築き上げてきた伝統のある行事です。その伝統を立派に引き継ぎ、来年度以降につなぐことを期待できる素晴らしい合唱コンクールとなりました。

ふと、先輩方が「なぜ合唱コンクールに情熱を注いできたのか。」を考えました。

合唱のよさは、学級のみんなで作品を創り上げる喜びや苦労を共有できることだと思います。

一つの歌を学級の全員で共有することにより、全員の気持ちが一つになり、人と人との心つながりが生まれます。人の声と自分の声を重ね合わせて創り出されたハーモニーは、まさに心をつながり表現することです。いつの時代も、双中生一人ひとりが、曲に込められた内面の世界に入り込み、自分たちの声で表現することの喜びを感じ、この取組を大切に引き継いできたのだと思います。

仲間と心をつなぎ、そして、伝統を受け継ぎ、今後につないだ素晴らしい「合唱」を、双中生の皆さんの「宝」として、今後も盛り上げていってくださることを期待しています。



3年A組合唱「結」



3年B組合唱「春に」



3年C組合唱「虹」



3年D組合唱「ヒカリ」

本校の合唱コンクールの素晴らしい点は、生徒実行委員会が運営を行っていることです。今年度は、実行委員長の3年北川さんを中心に、委員の皆さんがコンクールを支えていました。実行委員の皆さんありがとうございました。

生徒会長 小川さんのあいさつから・・・

どのクラスも心をつなげて、これまでの練習の成果を発揮し、素晴らしい合唱になったと思います。僕たちは今日の本番に向けて、たくさん練習を重ねてきました。これまで努力した時間や仲間とリズムを合わせた経験は皆さんにとって大きな成長になったはず。仲間と一緒に目標に向かって力を合わせる事の難しさや一生懸命やり遂げる楽しさ・素晴らしさを学ぶことができました。これからの学校生活に、培った力を最大限活かしていきましょう！

おうみ認定こども園と合同避難訓練

全国各地で地震や気候変動等により災害が発生し、現在も避難生活をされている方々がおられます。私たちは、常に災害に備えた準備をしておかなければなりません。

このような中で、10月16日(水)に、こども園と合同で避難訓練を実施しました。

地震等により災害が発生した時は、一人ひとりが自助(自分の身は自分で守ること)、共助(互いに力を合わせて地域で助け合うこと)を大切に、隣接するこども園の園児の皆さんと連携・協力して避難する必要があります。今後も、避難訓練を通して、日ごろから災害への備えが重要であることの認識を高めていきたいと考えています。



米原市青少年育成大会で中学生の意見発表

米原市青少年育成大会で米原市中学生広場「私の思い 2024」が開催され、本校を代表して児玉瑞葵さんが「支えてくれた命」をテーマに意見発表しました。妹の誕生を機に見つめ直す育児のたいへんさ、そして支え合う家族の大切さを思う気持ちを発表しました。



地域貢献活動 地域に貢献する双中生

10月12日(土)に開催された坂田小、息長小の運動会の運営補助役員として、陸上競技部の皆さんがボランティア参加しました。また、19日(土)に開催された米原市青少年育成大会の運営・司会スタッフに、双中生徒会の皆さんがボランティア参加しました。他にも、地域で障がいのある方のサポート活動に希望して参加した生徒の皆さんがいます。ボランティアで地域貢献する双中生を、地域でも応援していただけますようお願いします。



発表した児玉さんと双中ボランティアの皆さん

学校評価アンケートにご協力ありがとうございました

1学期末に実施した生徒・保護者アンケートの結果を紙面にてお知らせします。アンケートの実施に当たりご協力いただきありがとうございました。生徒・保護者アンケートの結果を、本校の学校運営の重点にあわせて5つの視点別に整理しています。今年度も「学校に楽しく通っている。」と肯定的に回答した生徒が増加したことはたいへん嬉しいことです。また、「いじめなど人を傷つける言動を見逃していない。」と回答した生徒の割合は依然として高く、友だちや仲間を大切に感じながら生活する様子が表れています。さらに、「自信を持ち生活できている。」や「自己の目標や学級・学年・部活動など仲間やチームの目標を達成するために粘り強く努力した。」、「自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている。」と肯定的に回答した生徒が多く、特に子どもたちの自己肯定感が育まれてきていることがわかります。授業では、話をしっかり聞き、学んだことを活かして課題の解決に取り組んでいる生徒が多く、授業に対する意欲の高さがわかります。一方で、授業で自分の考えを発表することや家庭での学習習慣の定着には課題が見られました。

生徒アンケート 質問項目(%)	R5 12月	R5 12月
【視点1】子どもたちが安全・安心に学び過ごせる学校づくり		
1 学校教育目標を理解している。	84.6	84.6
2 学校に楽しく通っている。	93.7	87.3
3 ルールやマナーを守って、規律ある生活をしている。	95.1	95.5
4 掃除を頑張っている。	91.3	94.5
5 いじめや仲間はずし、人を傷つける言動を見逃していない。	90.9	91.8
6 その場所、場面に応じてあいさつができています。	72.0	72.3
7 先生方は、親しみやすく相談しやすい。	84.3	88.0
8 部活動(地域活動も含む)など適度な運動で充実している。	86.0	92.0
9 家庭で学校の様子を話し、通信などの便りを見ている。	84.3	83.2
【視点2】生徒の確かな学力を保障する学校づくり		
1 人の話をしっかりと聞くことができる。	91.6	94.9
2 授業中に自分の考えを発表できている。	61.2	63.8
3 各教科の授業は、わかりやすい。	87.1	90.9
4 授業や単元毎のめあてを意識して授業に取り組めた。	82.9	-
5 授業では学んだことを活かしながら課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ。	85.7	-
6 道徳の時間に自分を振り返ることができている。	87.1	93.0
7 総合的な学習の時間は、意欲的に取り組んでいる。	93.0	90.4
8 家庭学習(宿題、自主学習、予習復習)にしっかりと取り組んでいる。	71.3	76.8
【視点3】生徒の学習習慣・生活習慣の確立をめざす学校づくり		
1 テレビや動画(YouTube等)は、1日どれくらい見ますか。(2時間以上の割合)	52.5	59.5
2 ゲームやSNS(ラインやインスタ、X等)を1日どれくらい見ますか。(2時間以上の割合)	38.4	-
3 携帯やスマホで通話、メール、ライン等を1日どれくらい見ますか。(2時間以上の割合)	21.9	-
4 家庭学習(習い事除く)の中で、学校の課題(宿題)は1日どれくらい見ますか。(1時間以上の割合)	51.7	-
5 家庭学習(習い事除く)の中で、自主学習は1日どれくらい見ますか。(1時間以上の割合)	41.6	-
【視点4】地域に貢献し、地域社会の一員として信頼される学校づくり		
1 地域(市・自治会等)の行事に参加した。	52.1	59.8
2 双葉中に誇りを持っている。	87.1	88.6
3 学校生活、地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがある。	69.6	78.3
4 機会があれば、地域でのボランティア活動などに参加してみたい。	55.9	69.1
【視点5】生徒の自己肯定感、自己有用感を育成する学校づくり		
1 自分に自信を持ち生活できている。	83.6	80.0
2 自己の目標や学級・学年・部活動(地域活動等含む)など仲間やチームの目標を達成するために粘り強く努力した。	93.7	92.2
3 先生方から努力する(しようとする)自分の姿を励まされたり、応援されたりしてもらっている。	83.9	84.5
4 自分にはよいところがあると思う。	82.5	-
5 私は、将来の夢や目標がある。	64.3	69.6
6 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。	86.0	86.8
7 人の役に立つ人間になりたいと思う。	93.7	95.7

保護者アンケート 質問項目(%)	R5 12月	R5 12月
【視点1】子どもたちが安全・安心に学び過ごせる学校づくり		
1 学校教育目標を理解している。	78.7	76.8
2 学校は、特色ある学校・開かれた学校づくりに熱心に取り組んでいる。	81.7	79.2
3 学校は、教育環境づくりに熱心で、よく整備されている。	86.9	85.4
4 学校は、部活動指導や特別活動・行事活動に熱心に取り組んでいる。	85.8	87.8
5 わが子は、楽しく充実した学校生活を送っている。	87.7	80.5
6 わが子は、その場所、場面に応じてあいさつができています。	86.9	74.0
7 わが子は、家で学校のことを話してくれる。	76.1	73.2
8 わが子は、ルールやマナーを守り、規律ある生活をしている。	88.8	89.4
9 先生は、指導力があり、子どもの話もしっかりと聞いている。	75.4	71.6
10 先生は、気軽に相談でき、信頼できる。	74.6	72.4
【視点2】生徒の確かな学力を保障する学校づくり		
1 学校は、生徒の「学力向上」に熱心に取り組んでいる。	74.3	72.8
2 学校の先生は、わかりやすい授業づくりに熱心に取り組んでいる。	72.4	72.8
3 わが子は、自分の考えや意見をしっかりと表現できる力を身につけている。	63.1	61.0
4 学校は、生徒の「健康や心体・体力向上」の育成に熱心に取り組んでいる。	88.4	86.2
【視点3】生徒の学習習慣・生活習慣の確立をめざす学校づくり		
1 わが子は、家庭学習の習慣が身につけている。	54.1	83.7
2 わが子は、基本的な生活習慣が身につけている。	82.5	69.5
【視点4】地域に貢献し、地域社会の一員として信頼される学校づくり		
1 学校と家庭・地域との連携はうまく図られている。	77.6	74.8
2 学校内のコミュニティー・スクール(学校運営協議会)について知っている。	36.9	45.5
【視点5】生徒の自己肯定感、自己有用感を育成する学校づくり		
1 わが子は、優しい心を持ち、思いやりのある言動ができる。	92.2	91.9
2 学校は、生徒の「自己肯定感(自分がかんばればできるんだという思い)」の育成に熱心に取り組んでいる。	80.0	75.5
3 1学期に、わが子の成長したところが確認できる。	83.6	78.0

いいことです。また、「いじめなど人を傷つける言動を見逃していない。」と回答した生徒の割合は依然として高く、友だちや仲間を大切に感じながら生活する様子が表れています。さらに、「自信を持ち生活できている。」や「自己の目標や学級・学年・部活動など仲間やチームの目標を達成するために粘り強く努力した。」、「自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている。」と肯定的に回答した生徒が多く、特に子どもたちの自己肯定感が育まれてきていることがわかります。授業では、話をしっかり聞き、学んだことを活かして課題の解決に取り組んでいる生徒が多く、授業に対する意欲の高さがわかります。一方で、授業で自分の考えを発表することや家庭での学習習慣の定着には課題が見られました。

保護者の皆様からは、登下校の安全への心配から、自転車のルールやマナーの向上を求める意見、また、通学路の危険箇所等、子どもたちの安全・安心に関わるご意見も多数いただきました。今後も、アンケートの結果やいただいたご意見を生かし、双中生が夢や志をもって粘り強く努力を積み重ねていけるよう指導・支援に努めていきたいと考えております。引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。